



立教小学校



学校案内 2023



愛の教育

神さまから与えられた命

信じること

一人ひとりの命は、神さまによって与えられたかけがえのない尊いものです。

一人ひとりのお子様は、この世界に新しい光をともし特別な使命を神さまから賜っています。

育てること

友に手をさしのべる行動力、支え合いながら新たな世界を切り開く創造性を大切に育てています。

見守ること

時間をかけて温かく見守ります。一人ひとりの多様性にこそ価値があるからです。

ごあいさつ	2
神さまによるこばれる子ども	3
立教学院一貫連携教育、立教の歴史	5

学び愛

教室での主役は児童たち

学び愛	7
学び合う・高め合う 国語科、英語科、算数科、社会科、理科	9
体育科、音楽科、図工科、家庭科、 生活科・総合科	11
一歩先をめざすメディア教育 情報科	13
立教小学校が長年続けていること 読書科、日記、縦割り活動、耐寒マラソン、 学習発表会、展覧会	15

支え愛

手をさしのべる行動力

支え愛	17
立教小学校の主な行事	19
校外の活動	21
クラブ活動、児童会活動、学級会活動、聖歌隊、 その他、給食、制服、カレンダー	23
学内の安全、ICタグ、路線別グループ、 主な通学範囲と在校生の数、池袋までの主な所要時間、 PTA・育成会	25
入試要項、入学後の諸経費、学校公開行事、 学校の生活時程、立教小学校 教職員構成	26

キリスト教信仰に基づく人間教育

立教小学校は1948年に設立されて以来、キリスト教信仰に基づく人間教育をおこなってきました。一人ひとりの命は神さまからいただいたかけがえのない尊いもの、すべてのお子様はこの世界に新しい光をともし、一人ひとり特別な使命を神さまからいただいている、という信仰を教育の土台においてきました。この6年間の立教小学校における経験が、中学校、高校、大学における学びの堅固な礎となるように、常に改善を図りつつ歩んできました。

現在、本校では建学の精神を堅持し、以下の4つの目標を掲げて教育活動を進めています。

- ① 友だちのよいところがわかる子ども
- ② 自分のよいところを表現できる子ども
- ③ 広い視野でものを見られる子ども
- ④ すべてに感謝できる子ども

一貫連携教育

本校はこうして神と人々のために建てられた立教学院の建学の精神と教育理念に基づく一貫連携教育における入門期の役割を果たしています。中でも小学校が特に大切にしていることは「共に聴き合い、高め合い、学び合う学び舎を創造する。」ということです。

感性豊かな児童期に本校独自の特色のある豊富な校外活動、学年の枠を超えた縦割りグループでの活動、キャンプによる共同生活などが用意されています。これらの活動を通

して本校の児童は一人ひとりに与えられている神さまからの賜物を尊重し合い、互いに助け合い、共に生きる喜びを分かち合っています。様々な経験を共有することにより、一人ひとりのつながりが強固になり、生涯続く友人関係へと進んでいきます。また、豊富な経験は学びの世界を広げ、深めるための確かな基盤となっていきます。

「わからない」が言える授業

本校の学びは、暗記と再生の正確さや速さを競う勉強、知識の詰込みからの転換を図っています。

子どもの興味関心を重視し、教師も子どもも互いに学び合いながら、100点満点をゴールとせず、その先を探索する学びを目指しています。「わからない」が言える授業、「できる」「分かる」「使える・役立つ」という学びの段階に応じ、子どもたち一人ひとりの創造的な思考に価値を見出す授業づくりを目指して、日々創意工夫を重ねています。

また、本校が設立当時から大切にしてきた日記や野外活動、縦割りの教育が、児童の非認知能力を高めるためにどれほど役立っていたのかが、コロナ禍を通してはっきりと見えてきました。今後、オンラインでできること、できないことを明確にし、学校生活の中に、子どもたちの自己肯定感が増すような活動・行事を意図的、意識的に取り入れ、子どもたちがワクワクするような新校舎建築に向けての準備を開始いたします。

校長 田代正行





聖劇
毎年、クリスマス祝して神さまにおさげする劇として2年生が行います。

神さまによろこばれる子ども



チャペルでの礼拝
毎週金曜日にチャペル礼拝をささげます。(1校時目：高学年、2校時目：低学年)チャペル礼拝では、聖公会の教会暦にしたがった聖書が読まれ、チャプレンのメッセージをききます。



毎朝の朝礼
毎朝の朝礼は、朝の祈りです。全校で聖歌を歌い、神さまを賛美し、祈りをささげることから立教小学校の一日は始まります。



全校の礼拝
イースター、収穫感謝、クリスマス、設立記念日などには、全校が講堂に集まり、合同で大礼拝をささげます。この礼拝では、大きなプロセッションが組まれ、厳かな雰囲気の中で、保護者も一緒に祈りをささげます。



聖書科の授業
本校の教育の根底にはキリスト教の精神があります。小さい時から神さまを畏れ、感謝をもって生きる人を育てるということです。聖書科では、日々の授業を通して、その心を養います。実際には毎日過ごす学校生活全体を通して養います。知識というよりも、人としての生き方に大きな影響を与えるものです。特に、聖書から、神さまとはどのような方か、神さまに喜ばれる子どもとは何かを学びます。



2021年度クリスマスカード





立教池袋中学校
男子360名

立教池袋高等学校
男子360名



立教新座中学校
男子600名

立教新座高等学校
男子840名



立教大学

■学部
男女18,855名

●池袋キャンパス
文学部
経済学部
経営学部
理学部
社会学部
法学部
異文化コミュニケーション学部
Global Liberal Arts Program

●新座キャンパス
観光学部
コミュニティ福祉学部
現代心理学部

立教学院一貫連携教育

教育目標

テーマをもって真理を探究する力を育てる

共に生きる力を育てる

小学校から大学、そして大学院まで。立教学院は建学の精神と理念に基づく一貫した連携教育を行うことで、人の生涯の中で大切な人格形成期にあたる20年弱を俯瞰(ふかん)します。

立教学院に集う多くの児童・生徒・学生たちは、文字通り「St. Paul'sの名の下に」行われる一貫連携教育により、豊かに、伸びやかに成長していくのです。



立教小学校

2022年3月卒業生進路先

立教池袋中学校	62名
立教新座中学校	46名
他校	12名

立教の歴史

ウィリアムズ主教

築地時代の立教中学校

立教中学校の教室での1回生

旧木造校舎時代の運動会

新校舎建設時の航空写真

1874	1896	1899	1907	1918	1923	1948	1949	1960	1962	1966	1974	2000
立教学校創立	立教尋常中学校、立教専修学校設立	立教学院成立	立教大学開設	大学池袋移転	中学校(旧制)池袋移転	新制中学校、高等学校発足 立教小学校設立(中学校校舎内)		小学校校舎(旧)落成	高等学校新座移転 みすず山荘落成	現校舎完成	現体育館、温水プール完成	中学校、立教池袋中学校に改称し高校を併設 高等学校、立教新座高等学校に改称し中学校を併設

創作者ウィリアムズ主教来日(1859)

立教学院の母体となっている聖公会は、英国国教会から生れた教派で、英国の植民地を中心に全世界に広まりました。米国聖公会から日本に派遣されたC. M. ウィリアムズ主教(1829～1910)は、1859(安政6)年に長崎に上陸しました。

“St. Paul's School—立教学校”のはじまり(1874)

1873(明治6)年、明治政府がキリスト教を解禁するや、師は大阪から東京の築地に移り、翌1874(明治7)年2月に聖書と英語を教える私塾を開きました。これが“St. Paul's School—立教学校”のはじまりです。

立教中学校のはじまり(1896)

立教は1896(明治29)年の制度改革に際し、立教尋常中学校と立教専修学校を開校しました。前者は、立教としては「学校令」に準拠した最初の学校で、これが立教中学校のはじまりでした。

立教大学の設立(1907)

立教中学校は年々生徒も増加して隆盛の一途をたどりましたが、第2代総理タッカーは、立教でつちかった信仰心が進学によって薄れることを嘆き、立教大学を設立しました。1907(明治40)年のことです。

中・大両校を収容するには築地キャンパスが狭くなったので、1918(大正7)年に大学は池袋に移転し、1922(大正11)年には念願の「大学令による大学」に昇格しました。

立教小学校設立の意味(1948)

1945(昭和20)年の敗戦により、キリスト教学校は、明治以来半世紀にわたる圧迫と規制から解放されました。立教大学の新総長となった佐々木順三は、日本が民主主義の道を歩むには幼児のころからキリスト教教育が必要であると考えて小学校設立を指示、有賀千代吉主事(後、第三代校長)のもと、1948(昭和23)年に立教小学校が開校されました。

「一貫連携教育」—21世紀を迎えて

立教学院では、小・中・高・大の一貫教育体制が始まってからちょうど50年後の1998年、21世紀に向けての立教学院独自の教育を実現するために、一貫教育のさらなる充実をはかった「一貫連携教育」構想を打ち出しました。この構想に沿う形で、2000年に立教中学校が高校を、立教高等学校(新座)が中学を開校し、それぞれが中高一貫の立教池袋中学校・高等学校、立教新座中学校・高等学校として生れ変わりました。

立教学院はウィリアムズ主教が築地に小さな立教学校を開いてから、2023年で149年目を迎えます。

5

6

学び愛

教室での主役は児童たちです。



全世界で学習観の改革が進んでいます。

従来型の競争の学びでは、持続的、創造的な学びは行き詰まってしまい、真理の価値や喜びを見いだせなくなってしまう。今、世界中の学校が静かに変わり始めています。

教室で語る主人公は、教える教師から、学ぶ児童たちに移ってきました。教室の主人公が、わかる子から、まだわからない子に変化してきました。

「わからない」ことから学びは始まります。



学生アシスタント

子ども一人ひとりの理解力を高めるために、立教大学の学生が、学生アシスタントとして授業をサポートしています。



体育授業助手

水泳および球技スポーツを中心とした体育授業では、レベルに応じたきめ細かい指導のため、連携教育の特徴を十分に生かし、立教大学運動部の学生に助手を依頼しています。



特別授業

立教学院理科学研究会、立教学院算数・数学ワーキンググループによる出張授業の一環として、立教新座中高の理科教員、立教池袋中高の数学教員による高学年児童を対象とした特別授業が行われています。



体育科

教員の力は小さいものです。各種目でその道を目指した方に指導していただけるチャンスがあるならば、その方々にご協力いただき、子どもたちに還元したいと考えています。

水泳の授業には立教大学水泳部の学生が、スナッグゴルフにはゴルフ部が、フラッグフットボールにはアメリカンフットボール部が、サッカーにはサッカー部が手伝いに来てくれており、OB・保護者の手伝いも得て、一貫連携教育を基盤とした体育授業が展開されています。

体育授業の中で大切にしているのは、良い雰囲気作りです。誰にでもできる事とできない事がある。できる者ができない者をカバーし、ミスをしても、ドンマイの声がかかる雰囲気。苦手な者も、できるだけ事をやってみようという雰囲気。

クラスの中に体育が得意な者と不得意な者があり、一人一人がどう動き、どういう声かけをすれば良い雰囲気が生まれるのかを感じ、考えさせる授業を目指しています。

社会生活は、「勝ちもあり負けもあり」が基本です。それをわきまえた上で、他を認める心、ひいては、人間社会だけではなく地球全体に目を向ける心を育てる事が目標です。そして、なぜこの世に私たちが遣わされたのか、神さまから何を期待されているのか、体育活動が少しでもその意味を考える場になればと願っています。



着衣水泳

音楽科



リコーダーや邦楽器などによる合奏、童歌による遊びやリズム、和音の教育に力を入れています。そして何よりも、キリスト教の信仰に基づく本校の音楽にとって大切なことは、「神さまを賛美する」心を養うことです。チャペルで行われる礼拝では聖歌と祈りが歌われ、音楽科では、聖歌を歌うことにより、音を聴き、言葉を聴く耳とともに、「神さまの言葉を聴く心」を培うことを目標の一つにしています。

図工科



美しい色、楽しい工夫。図工科では感動を自由に色や形に表現することの喜びを一番大切にしています。絵画、版画、彫塑、工作、デザイン等、多くの分野の表現ができるように設備も本焼きのできる電気窯をはじめ木工具、プレス機等充実させています。教室も芸術棟に約110㎡の図画室、約150㎡の工作室を設け、共にパステルカラーを基調とした落ち着いた雰囲気を持たせています。子どもたちの大好きな時間の一つであってほしいと願っています。

家庭科



衣食住に関する実践的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的な知識・技能を習得していきます。そして家庭生活についての理解を深め、家族の一員として家庭生活をよりよくしようとする、実践的な態度を育てることを目標にしています。

生活科・総合科



生活科・総合科は、「自然を大切にし、人を愛することができるようにする」という目標の基に次の二つのことを常に考えて授業を進めています。一つは自然のものを知ることです。畑で野菜を栽培したり、雑木林で季節毎の変化を観察カードに書いていたりして自然に直接触れて感じるようにしたいと願っています。もう一つは「自分の周りの人が幸せになるようにすること」です。学校の中をきれいにすることを通して、また、学校のご近所で通学路に住んでいらっしゃる方々のためにボランティア活動を通して、私たちが神さまの栄光をあらわす器となることを願っています。

27年のあゆみ

- 1994年 4月

Windows3.1、20台によるコンピュータ室の開設。
- 2001年 4月

「情報科」の開始。Windows 2000 Professional、40台によるリニューアル。
- 2003年 4月

専任教員による「情報科」の開始。
- 2006年 4月

第2コンピュータ室の設置。WindowsPCによるLLシステムの構築。
- 2008年 4月

iMac40台によるコンピュータ室のリニューアル。
- 2013年 4月

iPad mini=170台(英語科120台・情報科40台・予備10台)。
iPad(第4世代)=75台(理科10台・教職員65台)。
校内無線LAN環境の整備。普通18教室のすべてにApple TVを設置。
3年生に1人1台のiPad mini2の導入開始。
6年生に「学校のiPad mini」の貸与。
- 2014年 9月

Apple社のeラーニングシステム「iTunes U」の利用開始。
- 2014年 11月

Google for Educationの利用開始。
現在の「G Suite」の利用開始。「立教小学校メディアセンター」の設置。
- 2015年 4月

3、4、6年生の3学年で1人1台のiPad miniをもった環境が整う。
- 2015年 8月

情報科の石井輝義教諭が、Apple Distinguished Educatorに認定。
- 2016年 4月

3年生以上の全児童が1人1台のiPad miniをもって授業に臨む環境の完成。
6年生に「学校のiPad mini」の貸与。
- 2016年 11月

Apple Distinguished Program(2016-2018)に認定。
- 2017年 4月

Wi-FiモデルからNTTドコモのWi-Fi + Cellularモデルに変更。
3年生以上の全児童が、「自分のiPad 」をもって授業に臨む環境の完成。
- 2017年 8月

英語科の天野英彦教諭が、Apple Distinguished Educatorに認定。
- 2018年 4月

コンピュータ室を、椅子と机を廃止した座敷タイプへリニューアル。
MacBook Pro13=45台、iMac Pro=12台iPad(第6世代)=45台。
- 2020年 4月

Monoxerの利用開始。記憶に特化したアプリケーションの「Monoxer」を導入。
- 2020年 5月

新型コロナウイルス感染拡大に伴う長期休校によるオンライン授業開始。
Googleサイトを活用した「保護者・在校生専用サイト」による情報発信。
Google Classroomによる非同期型の双方向授業。YouTubelによる授業動画の配信。ロイロノートによる非同期型の双方向授業。Google Meetによる同期型のオンライン授業。
- 2021年 4月

1年生と2年生に1人1台のiPad 。



コンピュータ室

全学年で情報の授業を中心に活用しています。個々での作業や、グループでの作業がすぐに切り替えられるように、教室全体に絨毯を敷き詰めた、座敷タイプです。

メディア教育として

いよいよ2020年度より、公立小学校では文部科学省の学習指導要領に従って「文字入力など基本的な操作を習得、新たにプログラミング的思考を育成」を謳った情報教育が総合的学習の枠組みで始まりました。

本校では「情報」を学ぶ重要性を早くから認めて 「メディア教育」と位置づけ、国語科や社会科、算数科、理科などと同じように、2001年4月から「教科」のひとつとして専科教員を配置して授業を行なってきました。

現在は、1人1台の端末を手にする1年生と2年生で、その基本的な活用方法を身につけ、3年生以上では、その基礎を土台にして、さまざまな学びを深める、という大きな枠組みの中で授業を進めています。

コンピュータ室で大事にしてきたこと

做すべき先例がなかった授業は毎年試行錯誤の連続でした。1年として同じ状況がない中で、教員が一貫して教えてきたことは「情報モラル」の重要性です。またコンピュータ室では、他教科の授業よりさらに、

① 人の話をよく聞く、② 友だちと協力し合う、③ 他人に迷惑をかけない、の三つが求められます。

これらは期せずして本校の掲げる児童同士の「学び愛(合い)」「支え愛(合い)」の実践の場ともなり、ここでの学びの経験が、学校だけでなく、これからのデジタル社会を生き抜く大きな力になり、デジタル・シティズンシップを身につけることを期待しています。

コロナ状況で生きた「試行錯誤」の経験

「情報」教育は単独で成り立つものではなく、他の教科で生かされて初めて目的が達せられる教科です。そのために教員間の協力は不可欠で、この20年間に自然と情報教育への理解が教科の枠を超え、少しずつ教員全体に醸成されていきました。

2020年、春からの緊急事態宣言で、当たり前であったこれまでの授業の「対面」という常識が突然失われたなかで、本校では教員も子どもたちも、あまり慌てずに自宅学習(=オンライン授業)に移行することができました。

オンライン授業には「同期型」(リアル配信)と「非同期型」(録画配信)の二つのタイプがあります。本校ではこれまでの経験から、「すべての子どもたちの学びを止めない」ことに重きを置き、授業の単なる配信に終わりのやすい「同期型」より、児童の疑問に教員が回答できる「双方向性」システムは確保しつつ、録画配信の「非同期型」を選びました。これは、「教室」「時間割」「先生」「評価」がないことをマイナスにとらえず、ここから解放される「自由」としてプラスに考え、これにより本当の意味での「主体的な学び」を目指そうというチャレンジです。ここには、対面では難しかった<個別最適化した学習>に近づく大きな可能性が隠れていました。このチャレンジの成果は、これまでの対面授業のあり方にも影響を与えずにはおかないはずで。

本校では、「情報科」(=メディア教育)を「各教科を繋げ、そしてそれらを豊かに支える土台」であると考えています。(2022年3月現在)

授業の具体例

① ボールの動きをコントロールするプログラミングを学ぶ(2年生)

2年生では、Sphero SPRK+というロボットボールと、iPad mini を使い、ボールの動きをコントロールするプログラムを学びます。



② 家庭科とのコラボレーション(4年生・5年生)

- ・「都道府県の食」をまとめる学習。
- ・ 裁縫や、さまざまな調理実習を iTunes Uで教材化。
- ・ 児童自ら給食のメニューを作成する「ベスト給食」(優秀な作品は、実際に給食として提供)。



③ 自然体験プログラムの体験をまとめる(5年生)

自然体験プログラムのグローバルエクスカーションを「体験」だけに終わらせず、「知的活動」として位置づけその定着を図っています。



④ 関西方面フィールドワークの事前学習(6年生)

関西フィールドワークでの訪問先について、各自で事前に学習し、そのデータを4人のグループでまとめていきます。各自での作業は、iPad miniで操作方法を確認しながら、ノート型のMacBookで行い、グループでの作業は、小型の白板や画面の大きいデスクトップ型のiMac Proを利用するなど、用途に応じて使い分けています。



⑤ 英語で自己紹介するビデオ・レター作成(英語科)

本校独自の教材を作成し「英語体験」を日常化することに努めています。6年生では、これまでのデジタル機器活用の集大成として、英語で自己紹介をするビデオ・レター作成による発信型の英語教育を実現しています。



立教小学校が長年続けていること

読書科



図書館
各学年、週1時間の「読書」の授業を行っています。蔵書は、約20,000冊です。



旧江戸川乱歩邸見学



朝読書

低学年から読書が日常的な習慣として定着します。物語をシャワーのように浴びることにより、知的好奇心や語彙が広がり、豊かな言語感覚、想像力を身につけます。読書科で厳選した400冊以上のおすすめの本をリストアップし、多くの本とのであいの場を作っています。また、自らの読書記録をつけ、感想を書いています。

外部の体験と読書体験を融合しています。外部施設や博物館などと連携し、読書の内容や本そのものの理解や感覚を深めるプログラムを豊富に展開しています。

日記



絵日記(1年生)



文章のみの日記(高学年)

立教小学校では1年生から絵日記が始まります。一日を振り返り、それを絵や文章でかくことによって、確実に表現力や言葉の力が高まるからです。自分の思いや考えを絵や文章にすることは、子どもから保護者・教員へのメッセージとなります。日記はコミュニケーションの大切な手段となってもい

縦割り活動



1年生から6年生の縦割りグループで朝礼(月・火)、給食(月・火・水)を共にします。また、2・3・4年生による縦割りキャンプも行っています。

耐寒マラソン



冬季に、全学年が約1か月間、朝7時30分から始業まで、マラソンコースで耐寒マラソンが行われます。

学習発表会



毎年2学期に各学年のテーマに沿った、主体的な学び・創造的な学びの成果を発表します。

展覧会



子どもたち一人ひとりの思いが込められた作品を展示します。作品の良さを認め合い、表現する喜びをみんなで味わいます。



講堂
904名収容、調音装置、調光装置
その他を完備した本格的な舞台
設備。



運動場
全天候型人工芝仕上げ。



1年生専用校庭
1年生教室横には1年生専用校庭
があり、常に教員の目が届く環境
のなかで自由時間を過ごします。



体育館
長さ50m・幅16m(バスケットボ
ールコート2面)。



体育館下ピロティ
雨天時、体育の授業や遊び場と
して利用しています。鉄棒、遊具を
設置、人工芝がしいてあります。



マラソンコース
運動場、体育館を囲むようにア
ップ
ダウンを含む1周250mの走路。



温水プール
長さ25m4コース・水深1m~1
30cm。水深70cmのサイドプ
ール。室温30度、水温30度。



クライミングウォール
クライミングギアが数か所付けて
あり、それを手がかりによじ上
って遊ぶ遊具です。

支え愛

手をさしのべる行動力を養います。



デイキャンプ(新型コロナウイルス禍における特別対応プログラム)
毎年7月に実施される軽井沢みずす山荘キャンプに代わるプログラムとして、実施された宿泊を伴わない、学校での3日間の特別プログラム。
6年生による出店、教室でのテント作り、プール遊びなどのイベントを実施。



友との「協奏」は、助けを必要とする者に手をさしのべる行動力、
協同して困難を乗り越える忍耐力、
支え合いながら新たな世界を切り開く創造力を育てます。
そして行事や日々の学校生活の中で、一人ひとりの感動や理解を共有することにより、
「競争」の学びから「協奏」の学びへの転換を図ります。

立教学院みずす山荘

7月には1年生から4年生までの児童を対象に軽井沢に所有する小学校専用キャンプ場で、1年生キャンプ、2年生から4年生の縦割りキャンプを行います。





運動会
A・B・Cの3クラス対抗で行います。
毎年、子どもたちの元気な声が校庭に響きわたります。

立教小学校の主な行事 (2019年度参考)

4月	入学礼拝 1学期始業礼拝 鯉のぼりをあげる式 前期児童会代表委員任命式 健康診断 イースター礼拝(お花届け) 4年生 消防車写生会 1～4・6年生 遠足	7・8月	5年生 グローバルエクスカーション 4・6年生 英国立教学院サマープログラム(希望者) 9月 2学期始業礼拝 後期児童会代表委員任命式 1・2年生 秋の遠足 6年生 関西方面フィールドワーク 5年生 稲刈り	1月	3学期始業礼拝 耐寒マラソン なわとび 聖パウロ回心日 立教小学校設立記念礼拝 4年生 スケート教室
5月	5・6年生 東京六大学野球応援 立教女学院との合同プレーデー 5年生 田植え	10月	運動会 ブックフェア	2月	1年生 生活科学院めぐり お別れ会 4・5年生 フラッグ・フットボール大会
6月	全校観劇会 5・6年生 バスケットボール大会	11月	学習発表会・展覧会 5・6年生 ソフトボール大会 収穫感謝礼拝 イルミネーション点灯式	3月	5・6年生 サッカー大会 3学期終業礼拝 卒業礼拝・祝賀会 4・5年生 メルボルンホームステイ(希望者)
7月	1学期終業礼拝 1・6年生 キャンプ 2～4年生 縦割りキャンプ	12月	クリスマスの飾り付け 5年生 餅つき 2学期終業礼拝 クリスマス礼拝・祝会		

(紫文字は校外行事)

(紫文字は校外行事)

プレーデー



立教女学院との交流を深める意味で毎年5月に行われる合同運動会です。毎年交互に両校のグラウンドを会場として使っています。

なわとび



全学年を対象とした「なわとび」を3学期に行っています。上級生が下級生に教える様子は微笑ましいものがあります。

ブックフェア



校内読書週間の企画として、「子どもと本の幸せなであい」をテーマに、本の展示販売会「ブック・フェア」を10月に開催しています。

餅つき



5年生家庭科「お米に関する学習」の集大成としてお餅つきを12月に実施しています。



小動物園
ウサギ・リス・インコ・コイ・カメを飼っています。児童が当番で世話をしています。



畑
校内にある畑では、生活科の授業で、野菜を育てています。



果樹園
教材園として植物を育てたり観察したりできる場所です。

グローバルエクスカーショ

「地球に目を向けた教育」を体験させたいという思いから、5年生の国内コース別選択の総合体験学習です。自分の身体を動かし、五感を使い、判断し行動するところに学習のねらいがあります。
2019年度実施コース：四万十川、小笠原、北海道、沖縄、飛騨高山

復興支援活動



「ほくたちにできること」を考え行動することで、現地の幼稚園・小中学校とのつながりも生まれています。
(被災された方々へお届けする牛乳パックいす作り)

田植えと稲刈り



学校契約の田んぼ(学校田：群馬県高崎市)へ出かけ、5年生が春に田植え、秋に稲刈り体験と精米作業見学を行います。

要町ボランティア



東京メトロ要町駅までの通学路にある谷端川緑道の美化のため、ゴミ拾いや銅像洗い、ポスター貼りの作業をしています。年2回、実施しています。

東京六大学野球応援



毎年、明治神宮野球場にて開催されている春の東京六大学野球リーグ戦を5・6年生全員で観戦し、立教大学野球部を応援します。

学院めぐり



1年生を対象に隣接する立教大学のチャペル・図書館・食堂を訪問し、立教小学校が立教学院の枝に連なる学校であることを学びます。

立教学院 一貫連携
清里環境ボランティアキャンプ



立教学院の児童・生徒・学生・教職員が清里の地に集い、ボランティア活動を行うキャンプです。
2019年は児童32人の希望者が参加しました。

遠足



野山や海などの自然に親しむことを目的とし、春は1～4・6年生、秋は1、2年生が遠足にでかけます。

関西方面フィールドワーク



「歴史から歴史学へ」をテーマとし、見学地においてiPad mini等を利用し取材内容を記録し、「フィールドからの学び」を体験します。

立教英国学院
サマープログラム／
1年間留学プログラム



8月に4・6年生児童(希望者)を対象にイギリスにある立教英国学院での寮生活による1週間のサマープログラムを実施します。
また、2017年度より5年生児童(希望者)を対象とした立教英国学院小学部への1年間の留学プログラムがスタートしました。

オーストラリア
ホームステイ



春休み期間中(3月)に4・5年生児童(希望者)を対象としてメルボルン近郊にあるビーコンヒルズカレッジジュニアスクールを訪問し交流します。また期間中はビーコンヒルズカレッジジュニアスクールの児童のご家庭におけるホームステイプログラムも実施されます。

クラブ活動



5・6年生は全員、クラブ活動に参加します。クラブは、運動系と文化系があり、それぞれ放課後を利用して、週に1～2回の活動を行っています。教室の勉強では得られないものを追求します。



児童会活動

児童が直接、学校運営に接しその向上を自覚する機関として児童会があります。各委員会の代表者を通して、全校児童の希望や考えを発表しあい、学校生活が有意義にすごせるよう、問題点の解決に努力します。

最近の活動としては、災害にあった方々のための募金活動、学校のきまりをみんなで守るためのポスター作り、あいさつ運動、施設の子どもたちとクリスマスカード交流などを行っています。

他に生活委員会、新聞委員会、放送委員会、図書委員会、保健体育委員会、美化委員会、小動物園委員会があります。



放送委員会

学級会活動

話し合い活動を通して問題を解決したり、学級独自の行事等を作り上げたりしながら、自主的、実践的な態度の育成を図ります。すべての児童が互いの意見を尊重し合い、安心して学び合い、高め合っていく学級を目指しています。



運動系

剣道
サッカー
水泳
体操競技
卓球
テニス
バスケットボール
野球
シーズンスポーツ

文化系

アート
囲碁・将棋
読書クラブ
演劇
科学
鼓隊・パーカッション
コンピュータクラブ
算数パズル・ゲーム
社会科クラブ
鉄道研究
立教ジャーナルクラブ



聖歌隊



礼拝のときにチャペルや講堂の前列で聖歌を歌います。聖歌隊のつとめは、心を神さまに向け、奉仕の心で歌い祈ることです。

給食

立教小学校給食室では、成長期のお子様に安全な給食をご提供できるように日頃から創意工夫しています。コンセプトとして「素材の味を活かした調理法をする」「和食の日や郷土料理を通して、日本の食文化に触れる」「季節の食材を使用し、旬を感じてもらう」という3つの柱をもっています。

その他



スナッグゴルフ

2002年から毎年1学期に5年生を対象としたスナッグゴルフ授業を立教大学ゴルフ部監督を始め、OB・保護者・ゴルフ部員の協力を得て実施しています。



フラッグ・フットボール

2000年から毎年3学期に3～6年生を対象としたフラッグ・フットボールの授業を立教大学アメリカンフットボール部の協力を得て実施しています。



制服

立教小学校の制服は、1948年の学校設立と前後して決定されました。1回生から変わらず同じ制服を着ています。終戦後間もない時代に、金色の百合のマークが入った帽子とランドセル。グレーのダブルの半ズボンのスーツ、赤いネクタイ姿の小学生がどれほど新鮮であったか想像してみてください。そしてさらに驚くべきことは、70年を経過した現在において、その新鮮さがまったく失われていないということです。

それはまさに、立教の教育の象徴であり、わたしたちは誇りをもって制服を守り続けています。

季節	秋→春(10月～4月)	夏(5月～9月)
帽子	黒の制帽	白のビケ帽
上	ワイシャツ えんじネクタイ グレーダブル上着 バッジ	半袖ワイシャツ バッジ (寒い日は紺色のセーター かベスト着用可)
下	グレー半ズボン	グレー半ズボン
靴下	紺または黒のソックスかハイソックス	
靴	黒の革または類似の短靴	

カレンダー

立教小学校では、毎年、同じ聖公会に属する立教女学院小学校、聖ステパノ学園小学校と共同で、聖書のお話を題材にした図工の作品を出し合ったカレンダーを制作しています。この伝統は、もう半世紀以上も続いています。



校内の安全

有人監視として正門に警備員の常駐所を設け、児童の在校時間中、警備にあたります。また、死角になる場所には防犯カメラを設置し、モニターを警備員が監視しています。下校時には保護者の方々が交代で、路線別の通学路の見廻りを行っています。

IC タグ

ランドセルに取り付けたICタグの電波を正門のアンテナで受信し、児童の登下校の時刻を完全に把握します。正門を通過するだけで、コンピュータに児童の登下校時刻が記録されます。携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録された保護者の方には、児童の登下校時刻をお知らせします。教職員と保護者の両者が協力して児童の登下校時刻を把握することで、安全確保に努めています。また、ICタグには、シリアルナンバー以外の情報は登録されていません。万一紛失した場合にも、個人情報漏洩の危険性は最低限に抑えられています。



路線別グループ

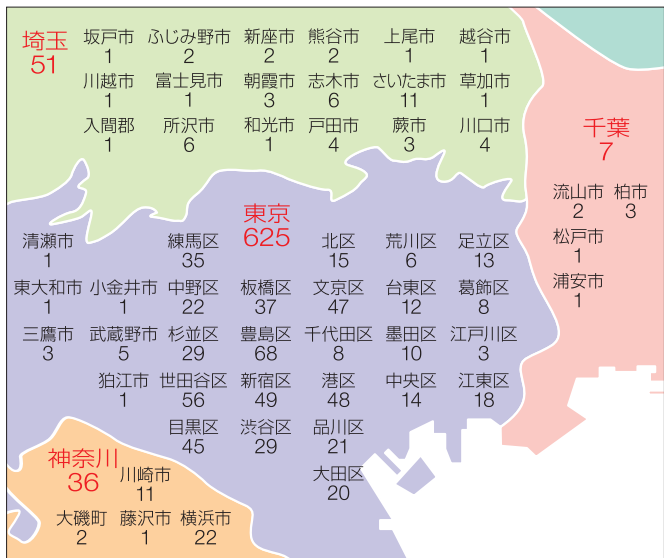
通学範囲が広い本校では、児童が安全に登下校できるよう、路線別のグループをつくっています。

各班には班長1名、副班長2名をおき、担当教師と班長保護者との協議により集会を開いたり情報伝達などを行っています。

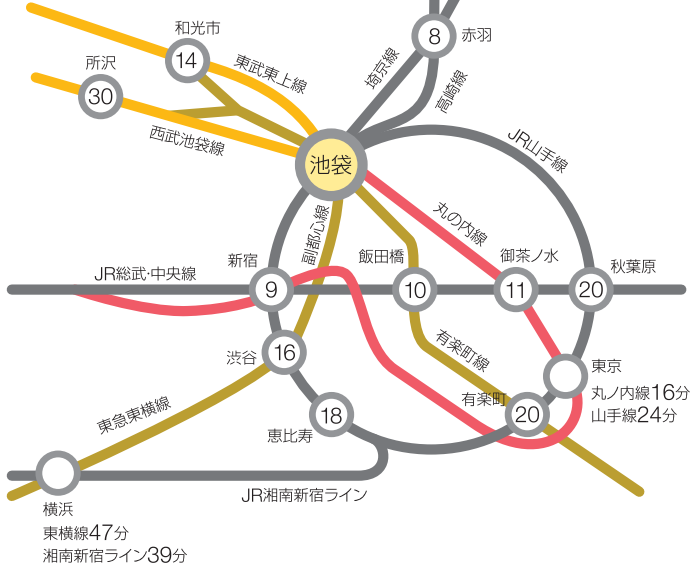


在校生の通学範囲(児童数)

〈2022年2月1日現在〉



池袋までの所要時間



PTA・育成会

PTA：保護者と教職員で構成される組織です。学校と家庭の連絡を綿密にし、会員相互の親睦を増進することを目的としています。

育成会：保護者による任意団体。学校の設備充実に寄与し、児童並びに教職員等の研修厚生福祉の増進を計ることを目的としています。

5月・3月にPTA・育成会合同総会を開催しています。



2023年度入試要項(概要) 詳細は2022年9月以降にホームページ(<http://prim.rikkyo.ac.jp>)をご確認ください。

2023年度入試要項(概要) 詳細は2022年9月以降にホームページ(<http://prim.rikkyo.ac.jp>)をご確認ください。

募集人員	第1学年 120名 男子のみ(3学級編成) 2016年(平成28年)4月2日から2017年(平成29年)4月1日までに生まれた者
入学試験日	2022年11月1日(火)・2日(水) 両日
入学検定料	30,000円

入学後の諸経費

(2022年度参考)

入学時納入		年間の学費		その他	
入学金	300,000円	授業料	660,000円	校外行事等費用	年額90,000円（1年生）
		維持資金	282,000円	1～6年生の学年によって金額は異なります。	
		健康管理費	36,000円	PTA会費	年額4,800円
		教材費	30,000円	給食費	年額 約100,000円
		冷暖房費	6,000円		

学校公開行事

2022年度の学校公開行事は、
右記の予定です。

詳細はホームページをご確認ください。

学校説明会(1)授業参観あり	学校説明会(2)	学校説明会(3)
2022年6月2日(木)	2022年7月2日(土)	2022年9月10日(土)
会場:立教小学校	会場:立教小学校	会場:立教小学校
受付開始 8:00	受付開始 9:00	受付開始 9:00
参観開始 8:25	説明会開始 9:30	説明会開始 9:30
説明会開始予定 10:40	終了予定 11:10	終了予定 11:20
終了予定 11:30	個別質問 11:10~12:10	
個別質問 11:30~12:30		

※学校説明会は、それぞれ内容が異なります。

運動会

2022年10月1日(土)
会場:立教小学校グラウンド

時間 8:20~12:00(予定)
※ 詳細はホームページにてご確認ください。

学校の生活時程

月曜日から木曜日	金曜日(高学年)	金曜日(低学年)
8:20 ~ 8:45 礼拝・HR・縦割り朝礼・体操・朝読書	8:20 ~ 出欠点呼	8:20 ~ 出欠点呼
8:50 ~ 9:30 1校時	8:35 ~ 9:30 チャペル礼拝・HR	8:25 ~ 9:30 授業・HR
9:40 ~ 10:20 2校時	9:40 ~ 10:20 2校時	9:40 ~ 10:20 チャペル礼拝
10:20 ~ 10:35 15分休み	10:20 ~ 10:35 15分休み	(15分休み以降は高学年の金曜日と同様)
10:40 ~ 11:20 3校時	10:40 ~ 11:20 3校時	
11:30 ~ 12:10 4校時	11:30 ~ 12:10 4校時	
12:10 ~ 13:05 昼食・昼休み	12:10 ~ 13:05 昼食・昼休み	※普通の日は、午前7時30分以降に登校します。8時20分に始業のベルが鳴ります。
13:10 ~ 13:50 5校時	13:10 ~ 13:50 5校時	
14:00 ~ 14:40 6校時	14:00 ~ 14:40 6校時	※1・2年生は、放課後に担任と遊ぶこともあります。(最終下校15時)
14:40 ~ 15:10 終礼・HR・掃除	14:40 ~ 15:10 終礼・HR・掃除	
15:10 ~ 15:50 クラブ活動・委員会・放課後遊び	15:10 ~ 15:50 放課後遊び	※土曜登校日は、各学年とも8時20分～12時30分。
16:00 最終下校(木曜日は、15:30)	16:00 最終下校	

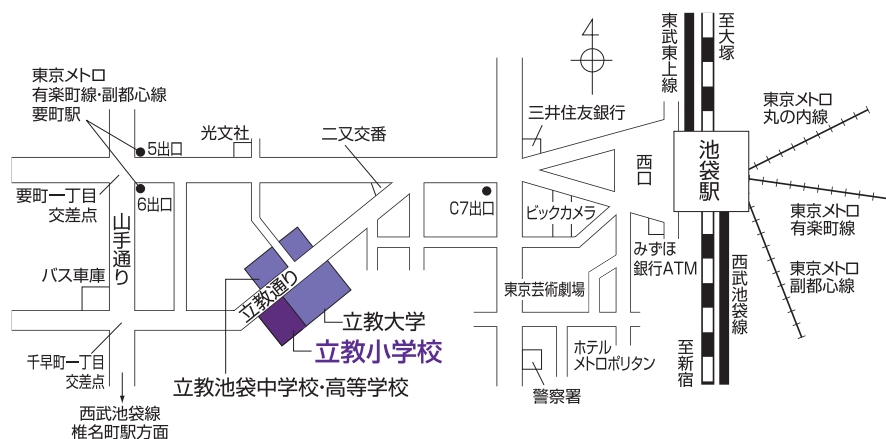
立教小学校 教職員構成

校長	1名	担任	18名	習字	1名	読書	4名	図書館職員	1名	みずす山荘管理人	1名
チャブレン	1名	英語	4名	図工	3名	理科	2名	校医	1名	体育授業助手	5～12名
教頭	1名	音楽	2名	生活	1名	養護	1名	学校カウンセラー	1名	学生アシスタント	15～20名
事務長	1名	家庭	1名	聖書	2名	事務職員	7名	歯科校医	1名		
教務主任	1名	情報	1名	体育	2名	看護職員	1名	学校薬剤師	1名		



立教小学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-36-26 TEL 03-3985-2728 <http://prim.rikkyo.ac.jp>



- 池袋駅西口より徒歩13分
- 東京メトロ有楽町線要町駅より徒歩6分
- 西武池袋線椎名町駅より徒歩15分